



SANGO GROUP VISION 2040

持続可能な社会をつくるために、
地域社会から親しまれ、信頼されるために、
お客様のかがやく笑顔のために、
社員の未来のしあわせのために、
「環境のSANGO」へ。もっともっと。

Pure AIR & More.



目次

- Iー 策定目的位置づけ ▶P3
- IIー 当社のこれまでの歩み・理念 ▶P6
- IIIー スローガン・ミッション▶P9
- IVー 事業領域の方向性 ▶P11
- Vー 経営基盤 ▶P17
- VIー 経営目標 ▶P20

SANGO GROUP **VISION 2040**

策定目的・位置づけ

はじめに

VISION
2040
とは?

三五グループが事業を通じて実現したい15年後、
2040年に向けたビジョンを明文化したもの

VISION
2040
策定目的

- 1 地球規模でのサステナブルな社会を目指す動力として、
企業経営の在り方もパーパス経営が求められており、
パーパスを意識したVISIONを示すため
- 2 排気ビジネスの逆風に勝ち、
時代にマッチした事業、企業風土の進化を図るため

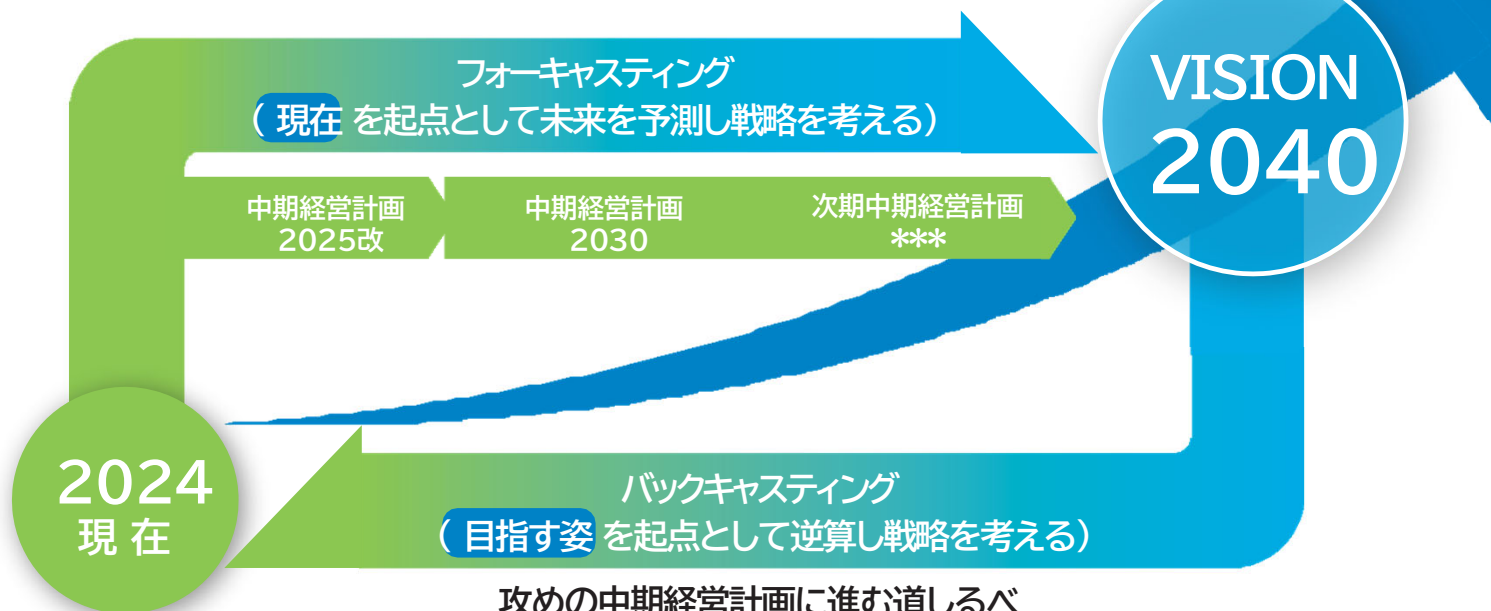
VISION 2040位置づけ

中長期戦略におけるVISION 2040の位置づけを整理

中長期戦略の考え方

- **バックカスティング** 長期VISIONを起点として逆算して戦略を考える
- **フォーカスティング** 現在を起点として未来を予測し戦略を考える

バックカスティングとフォーカスティング
の両輪で進めていく



ありたい将来像

Pure AIR & More.

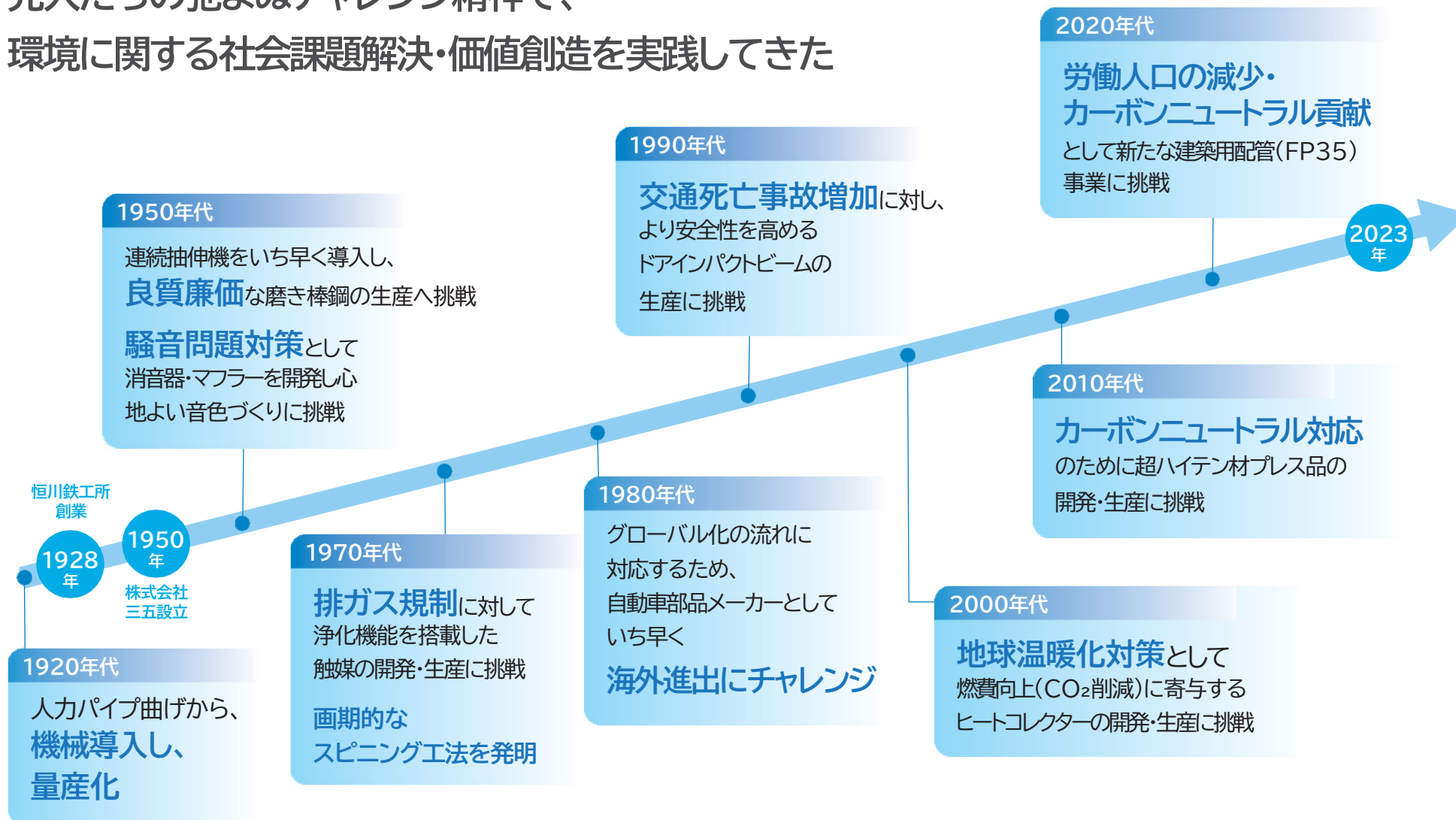
環境のSANGOとして今後も空気をキレイにし、
持続可能な社会に向けて
地域社会、お客様、社員のために
「環境のSANGO」へ
もともっと。

SANGO GROUP VISION 2040

当社のこれまでの歩み・理念

先人から受け継いだ当社のDNA

先人たちの弛まぬチャレンジ精神で、
環境に関する社会課題解決・価値創造を実践してきた



三五理念

社是

三五グループの繁栄
私達の地球 私達の会社 そして私達の繁栄につとめましょう

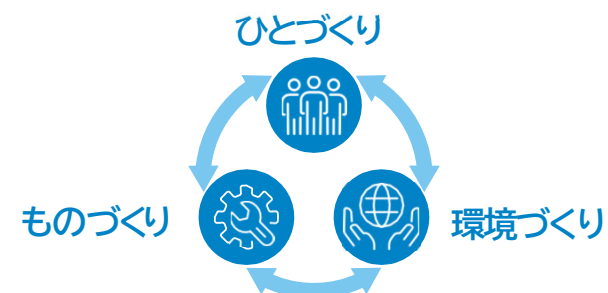
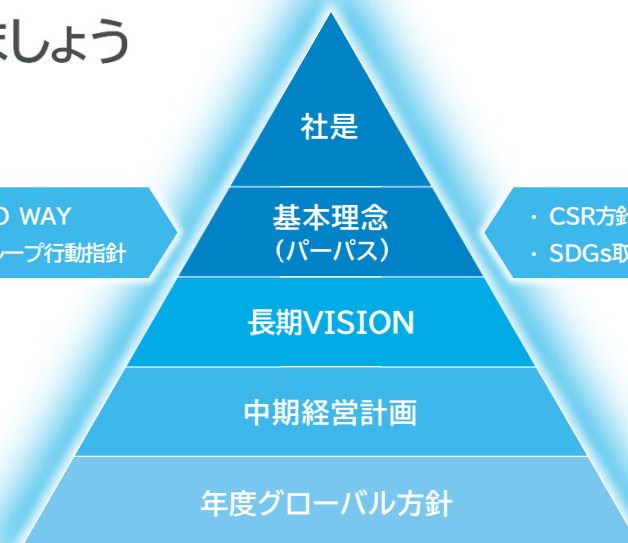
基本理念(パーパス)

持続可能な社会の実現のため、
「環境の三五」「人を大切にする企業グループ」
を目指します。

- ・チャレンジ精神と行動力、伝統を継承した、世界で活躍する「ひとづくり」
- ・技術を革新し、独創的な製品をつくり出す世界最高の「ものづくり」
- ・地域社会と一体となった個人と地球が調和する「環境づくり」

・ SANGO WAY
・ 三五グループ行動指針

・ CSR方針
・ SDGs取り組み方針



SANGO GROUP **VISION 2040**

スローガン・ミッション

VISION 2040としての目指すべき方向

スローガン

Pure AIR & More.

スローガンに込めた思い

Pure
AIR

環境の三五として、
今後も空気を浄化しキレイにしていく
価値を提供していく

More.

Pure AIR以外にも
更なる新しい価値を提供していく
思いを込める

ミッション

外 事業

ものづくり/コトづくり*1を通して、
安全・安心で持続可能な社会に貢献する

内 職場

働く仲間が自己の成長を通じて、
働きがい・幸せを感じる環境を提供する

相互深化

*1:製品そのものの設計・生産だけでなく、ユーザーが期待する体験を付加価値として製品を通じて提供する(例心地よい音色づくり)

SANGO GROUP **VISION 2040**

事業領域の方向性

目指すべき2つの事業領域

ミッションを達成するために
モビリティソリューション/エネルギー・インフラソリューションに注力する

モビリティ ソリューション領域

エネルギー・インフラ ソリューション領域







パワートレインに
捉われない
全方位戦略

次世代
モビリティ製品
への挑戦

公共インフラを
含めた建設業界
ビジネス拡大

次世代
エネルギー分野
への挑戦

モビリティ社会における4つの進化

<p>① 環境価値の進化</p>	<p>カーボンプライシングが加速化し、 環境姿勢が問われる時代</p>	<p>「つくる」「運ぶ」「使う」 あらゆるシーンで カーボンニュートラルを達成</p> 
<p>② エネルギーの進化</p>	<p>ガソリン以外の水素や電気等の 動力エネルギーが普及</p>	<p>エネルギーの多様化</p> 
<p>③ 移動の進化</p>	<p>公共交通に留まらず、 あらゆるモビリティ同士が連携 空飛ぶクルマ、ドローン、 パーソナルモビリティの拡大</p>	<p>移動手段の多様化</p> 
<p>④ 社会インフラの 進化</p>	<p>空飛ぶクルマ・ドローン等 空も活用した輸送拡大 コネクテッドカー等を活用した インフラ連携による渋滞解消</p>	<p>インフラ環境の変化</p> 

出所:日本自動車工業会(JAMA)「モビリティビジョン2050」2022年3月公布

モビリティソリューション領域の方向性

事業の方向性



パワートレインに捉われない
全方位戦略



次世代モビリティ製品
への挑戦

実現したいこと

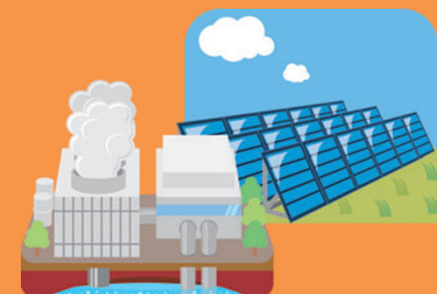
- マルチパスウェイに追従したボデー/駆動系製品の更なる拡大
- 排気系事業の新たな可能性の追求(例:M&A・協業含む)
- 規制を先取りした環境に優しい製品への深化/創出
- 次世代モビリティに関するパーツ・サービス創出
- 既存素材/新素材を含め開発～加工まで一貫した製品創出・分野拡大

エネルギー/インフラ社会の2つの進化

① エネルギーの進化

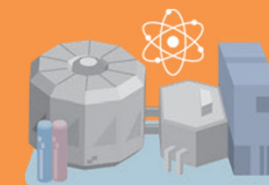
再生可能エネルギーの普及
宇宙太陽光発電、バイオマス発電、地熱発電等
分散型電源大量導入

クリーン
エネルギーの普及



核融合発電実用化

次世代エネルギー台頭



② 社会インフラの 進化

水素/アンモニア発電の活用
非接触給電システム
水素ステーション配置

水素社会の普及

老朽化設備更新
(道路/上下水道)に伴う
大幅な更新作業

持続可能な
インフラ供給網が必須



エネルギー/インフラソリューション領域の方向性

事業の方向性



公共インフラに関連する
ビジネスの拡大



次世代エネルギー分野
への挑戦

実現したいこと

- インフラ老朽化(維持/更新需要増)、労働人口不足を解消する
インフラビジネス拡大(例:JIS/規格化)
- 都市インフラ/生活環境に関するビジネスへの進出
- 次世代エネルギー関連製品の創出(例:水素、スマートシティ等)

經營基盤

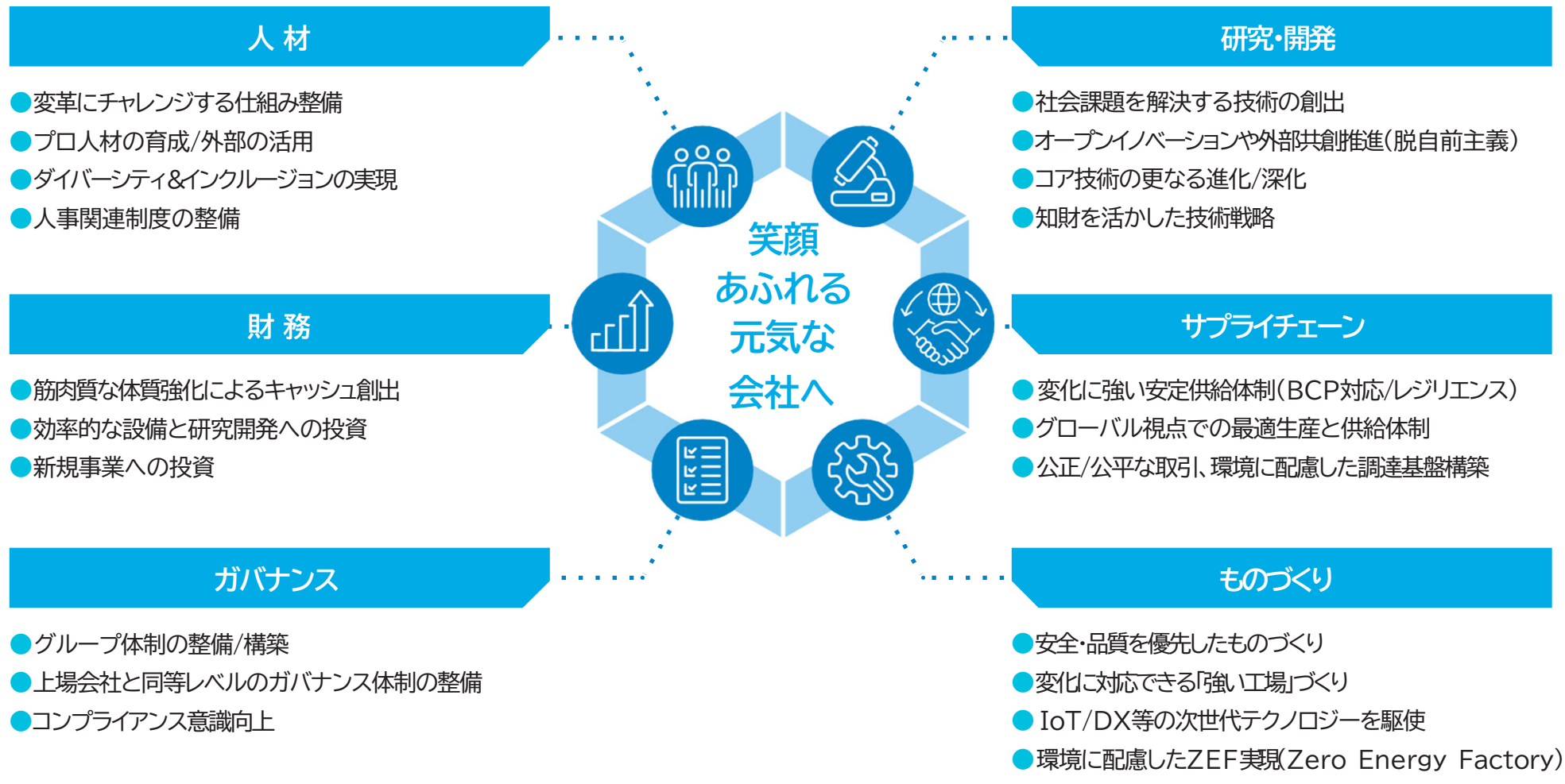
SANGO GROUP VISION 2040



目指したい会社風土



事業を支える経営基盤



企業風土 Well-Being実現、自己成長を通じた幸せ/働きがい、従業員エンゲージメント向上

経営目標

SANGO GROUP **VISION 2040**



定性目標(非財務)

E

Environment

- CO₂排出量 2050年:カーボンニュートラル達成に向けて推進



S

Social

- 従業員エンゲージメント向上 →企業価値創造への共感と貢献への幸福
- 多様性に富んだ人材登用 →女性の役員&管理職 積極登用グローバル人材登用
- 社会に貢献する事業を通して地域社会に愛される会社へ



G

Governance

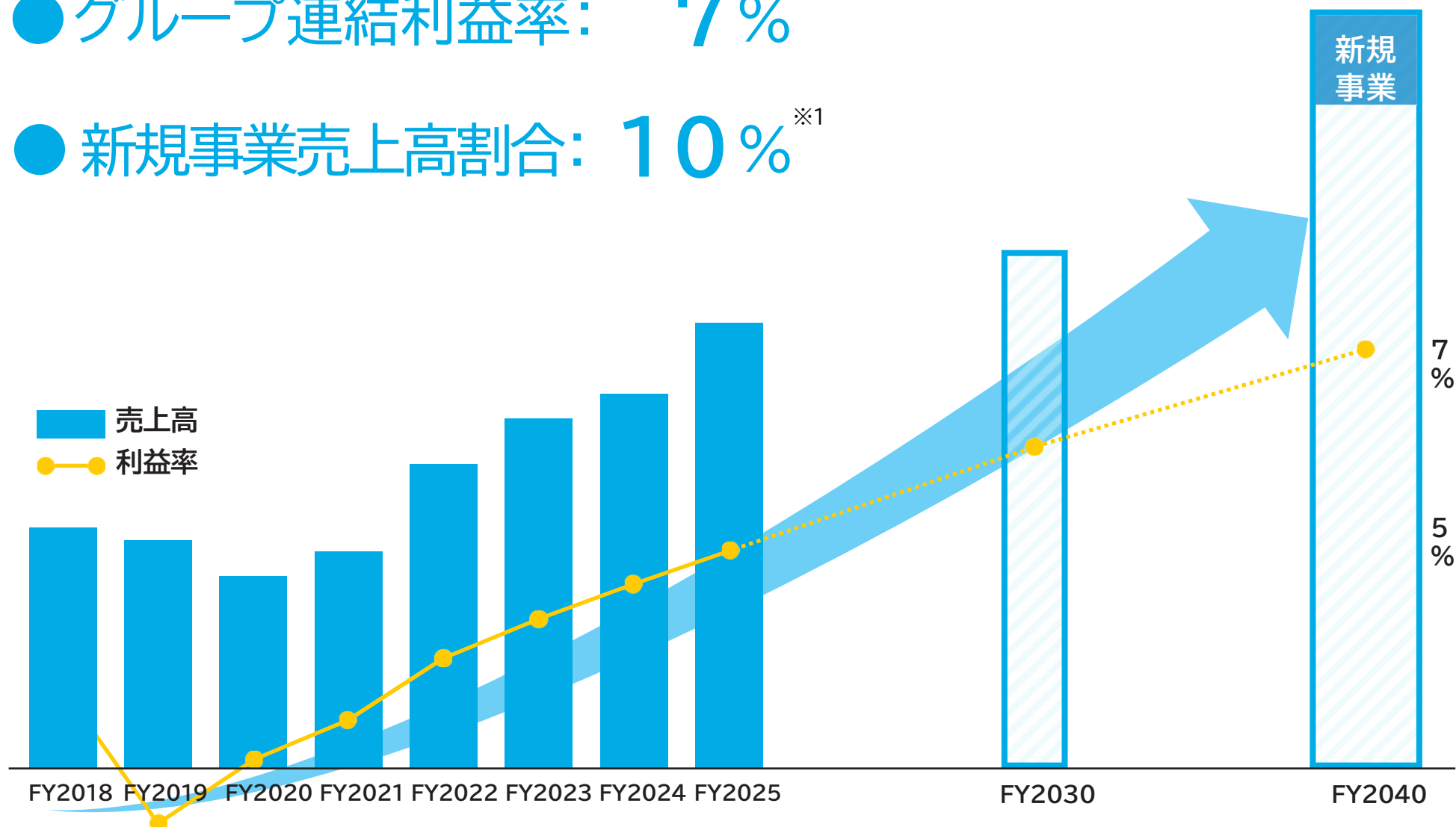
- 法令/企業倫理の遵守をサプライチェーン含めグローバルへ展開
- 健全な経営ガバナンス体制構築(上場企業と同等レベル)



定量目標(財務)

●グループ連結利益率: 7%^{※1}

●新規事業売上高割合: 10%^{※1}



※1: 支給品除く

VISION 2040全体像

スローガン

Pure AIR & More.

ミッション

事業

ものづくり/コトづくりを通して、
安全・安心で持続可能な社会に貢献する

職場

働く仲間が自己の成長を通じて、
働きがい・幸せを感じる環境を提供する

事業領域の
方向性

モビリティ ソリューション領域

- ・パワートレインに捉われない全方位戦略
- ・次世代モビリティ製品への挑戦

エネルギー/インフラ ソリューション領域

- ・公共インフラ含めた建設業界ビジネス拡大
- ・次世代エネルギー分野への挑戦

事業を支える
経営基盤

笑顔あふれる元気な会社へ

人材

財務

ガバナンス

研究・開発

サプライ
チェーン

ものづくり

経営目標

非財務

- E** CO₂排出量2050カーボンニュートラル達成
- S** 従業員エンゲージメント向上多様性に富んだ人材登用
- G** 法令/企業倫理遵守、健全な経営ガバナンス体制

財務

グループ連結利益率：7%以上
新規事業売上高割合：10%以上



Pure AIR & More.

【将来見通しに関する注意事項】

本資料には、将来予測に基づく計画、戦略の記述が含まれています。
これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、
実際の成果や業績は記載内容とは異なる可能性があります。